

# 組立式 茶室の案内

<宮城県立大崎高等技術専門校 建築科 製作>



茶室外観

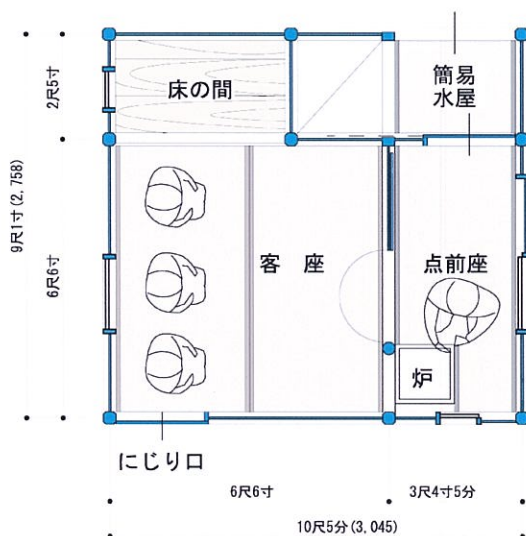
茶室内観

茶室は、京都にある名席、道安囲いで知られた**澱看席(よどみのせき)**を模した移動可能な組立て式建築物です。主に、ものづくりの重要性や技能のすばらしさを広める目的のもと、大規模なイベント等に活用してもらうために、指導員と学生が共に知恵を出し精魂込めて製作しました。

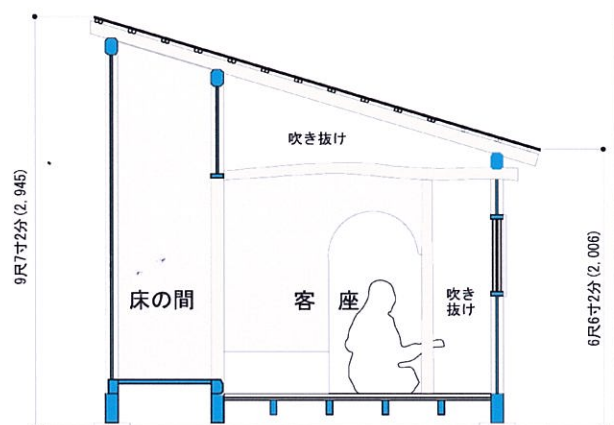
茶室形式 草庵茶室 平3畳道安囲い 炉:向切り本勝手 床:下座床(杉板)

仕様

床:畳敷き  
壁:合板  
柿渋塗り  
天井:ヨシ  
柱:杉面皮  
柿渋塗り



平面図



断面図



どうあんかこ  
道安囲い  
使い方  
(一例)



火灯口を閉めた状態



火灯口を開けた状態

茶道具を運び入れる間は火灯口を閉めておき、準備が整ったところで開け、挨拶を交わします。亭主の所作が、火灯口に切り取られるため、一種の舞台効果的な作用があります。



床  
(下座床)



にじり口



亭主出入口口



畳：京間サイズ



電熱式炉  
(向切り本勝手)



簡易水屋

組立て  
風景



① トラン



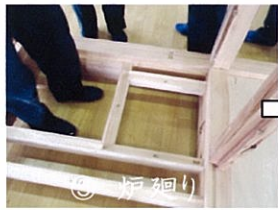
② 部材搬入



③ 土台敷き



④ 中柱入れ



⑤ 戸廻り



⑥ 床廻り



⑦ 柱・床下地



⑧ 壁・窓入れ

※所要時間  
は3時間  
程度



⑨ 壁・窓入れ



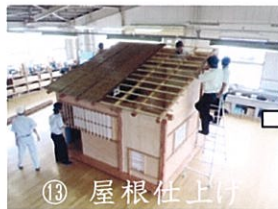
⑩ 壁・窓入れ



⑪ 桁



⑫ 垂木



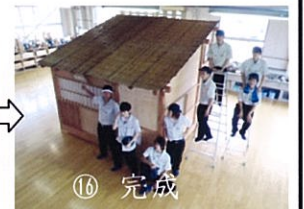
⑬ 屋根仕上げ



⑭ 畳敷き



⑮ 吊棚等



⑯ 完成

用語

どうあんかこ  
道安囲い  
向切り  
ほんがって  
本勝手  
げざとこ  
下座床

客座と点前座の間の区切壁のことを指し、亭主の謙虚な姿勢を強調したもの。

炉の切り方の一つ。点前畳の客畳寄りの隅に炉を切ること

点前座に座る亭主の右側に客が着座する構え

床の位置が点前座の後方にあるもの。